

2026年5月26日

株式会社アドバンテッジリスクマネジメント

代表取締役社長 鳥越 慎二

(東証スタンダード コード 8769)

産業保健体制の不備を早期発見し、“健康”な状態に導くアセスメントサービス

「産業保健ドック」提供開始

～経営リスクに直結する産業保健を「コスト」ではなく「投資」へと捉え直す～

株式会社アドバンテッジリスクマネジメント(本社:東京都目黒区、代表取締役社長:鳥越 慎二、以下「当社」)は、企業の産業保健体制を「経営リスク」の観点からアセスメントする新サービス「産業保健ドック」の提供を開始いたします。

近年、企業を取り巻く環境は大きく変化しています。人材確保・定着の難易度が高まるなか、メンタルヘルス不調や長期休業への対応は、単なる労務課題ではなく、採用力や生産性、企業価値にも影響する経営課題として捉えられるようになってきました。一方で、拠点の分散や働き方の多様化により、産業保健体制の運用実態を全社で把握し、適切にマネジメントする難しさも増しています。

当社ではこれまで、EAP や復職支援、健康経営支援などを通じて多くの企業の産業保健体制に関わってきました。そのなかで、下記のような構造的な課題が浮かび上がっています。

- 法令遵守を満たしていることが第一に優先され、「問題はない」と捉えられてしまう
- 情報が拠点・職種ごとに分断され、全体像として把握されていない
- 現場の情報が「経営の言葉」に翻訳されていない

このような状況では、本来事前に対処できたはずの課題が、採用難や離職増加、生産性低下、企業評判の毀損といった形で表面化してしまうケースも少なくありません。

こうした課題認識のもと、当社は産業保健体制の全体像を可視化するべく、アセスメントサービス「産業保健ドック」を開発いたしました。

■本サービスの特徴

1. 経営視点で現状を可視化

産業医選任や健康診断などの実施状況だけでなく、採用・定着・生産性・企業評判への影響までを「経営リスク」として翻訳します。

2. 組織・判断構造の整理

情報・権限・責任がどこで止まっているのかを明確化し、属人化や拠点間のばらつきを可視化します。

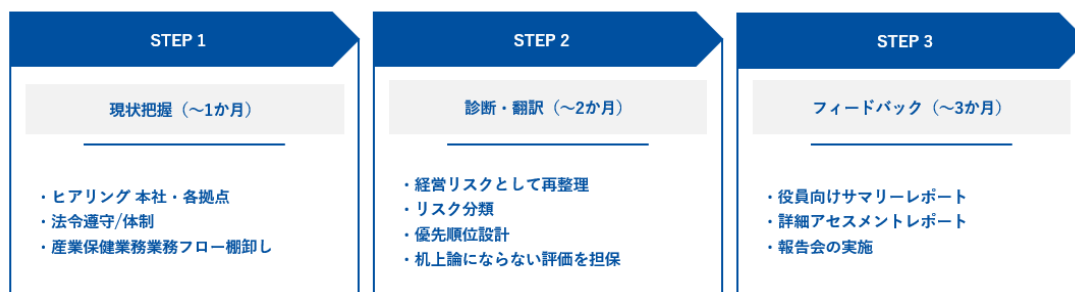
3. 経営判断に使える、経営影響を示したアウトプット

リスクを視覚的に整理したレポートを提供し、経営層が意思決定できる状態を実現します。

【アセスメントの流れ】

本サービスでは、アセスメントの品質を担保するため、保健師や産業保健業界の知見を持った有識者が伴走しながら現状把握・評価を実施します。

なお、本支援は「運用代行」ではなく、打ち手を検討するための優先順位づけや論点整理を行うものであり、およそ2～3カ月の期間を想定しております。



1) 現状把握

本社および各拠点でのヒアリングにより、産業保健体制を把握し、実施業務のフローを棚卸し

2) 診断・翻訳

可視化された事実を経営リスクとして整理し、リスクをグルーピングしたうえで優先順位を設計
AIを活用したスピーディな情報整理と、専門家の観点を取り入れた独自の「メッセージ」を提示

3) 報告・合意形成

役員向けサマリーおよびアセスメントの詳細レポートを提供し、報告会を実施するとともに次のアクションを合意

当社は「産業保健は経営を支えるインフラである」という考えのもと、今後も企業の意思決定に資する支援を提供してまいります。

「産業保健ドック」サービス資料のダウンロードは[こちら](#)

■関連サービス

産業保健ドックを「診断」だけで終わらずに、課題の解決までを総合的に支援します。

・産業医サービス

メンタル領域に対応し、実践知識、課題解決力、現場対応力、コミュニケーション力を兼ね備えた産業医を紹介。
日本全国で対応可能。

・保健師サービス

メンタルヘルス・健康経営に精通した経験豊富な保健師が企業の課題解決を柔軟にサポート。
課題にマッチした保健師をご紹介します。

・健診管理システム「アドバンテッジ ヘルスケア」

従業員の健康データを「管理」から「活用」へ。健康経営の促進までまるっと効率化する健康管理システム。

その他各種サービスは[こちら](#)

■アドバンテッジリスクマネジメントについて

企業に未来基準の元気を！



1995 年、退職者の所得を補償する保険「GLTD(団体長期障害所得補償保険)」専業代理店として創業。
2002 年より、日本で初めてストレスチェックを取り入れた、予防のための EAP(従業員支援プログラム)サービスの提供を開始し、周辺領域へと事業を拡大。
現在は、EAP や研修・ソリューション、健康経営支援を軸とする「メンタリティマネジメント事業」、病気・ケガ、出産・育児、介護による休業・復職支援や仕事との両立支援を軸とする「就業障がい者支援事業」、個人向け保険販売を軸とする「リスクファイナンス事業」を展開。
従業員の「ウェルビーイング」「ハピネス」向上を掲げ、今後は福利厚生アウトソーシングや労務管理支援、組織活性化のためのツールなどへと事業拡大。効果につながるプラットフォームとソリューションを提供しウェルビーイング

領域における圧倒的地位確立を目指します。

【報道関係者からのお問い合わせ先】

株式会社 アドバンテッジリスクマネジメント 広報担当 pr-info@armg.jp